

様式4

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立米子南高等学校

学校長 山崎 和正

評価日	令和5年10月30日（月）
評価・提言	学校の所見・改善策
1 目標設定について ・昨年度と比べて、整理されている。 2 評価項目と目標達成のための取組について ・Chromebook の活用が基礎学力の向上に結び付いているか。使い方の指導も大事だが、生徒自身が活用の仕方を生み出していく仕掛けも必要。 3 具体目標について ・インターンシップの満足度について。職場の真の姿や状況を見られるものになれば良い。 4 目標達成のための具体方策について ・服装・生活面での指導について。以前は教員が押さえつけるというイメージがあったが、どのようにコミュニケーションを取っているか。また、教員のハラスメント対策をおこなっているか。 5 その他 ・PTA活動について、生徒に近いところに関わることができている。今後も教育活動に貢献していきたい。	・現状と課題について焦点化した。 ・授業の振り返りや課題研究のプレゼンテーション用シートの作成等で活用し、生徒の自主的な学習に繋げようとしているところ。Google Education の共有機能を最大限生かしたい。 ・インターンシップ後の報告会において、総じて満足度は高いと感じている。希望する企業で実習できなかった生徒もいるので、希望する生徒には追加で実施したい。 ・以前のような押し付けるような指導ではなく、生徒に何故指導されているのかを訴えながら指導している。ハラスメントに対する研修は適宜行っている。 ・引き続き協力をお願いしたい。学校も、課題研究やeスポーツ活動等を通して、情報発信と地域貢献を進めていきたい。